

平成24年5月18日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 2件  
(うち石油ふろがま1件、ガスこんろ(都市ガス用)1件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、  
製品起因が疑われる事故 4件  
(うち空気清浄機2件、デスクトップパソコン1件、温水洗浄便座1件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、  
製品起因か否かが特定できていない事故 6件  
(うち草焼きバーナー(可搬型)1件、電気冷蔵庫1件、  
バッテリーパック(ノートパソコン用)1件、照明器具(灯籠)1件、  
電気ストーブ(ハロゲンヒーター)1件、電気ストーブ1件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故公表等調査会及び第三者委員会合同会議(※)において、審議を予定している案件  
該当案件無し

1. ~ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者委員会消費者安全専門調査会製品事故情報の公表等に関する調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません(管理番号A201200125、A201200131、A201200132及びA201200133を除く。)

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

## 6. 特記事項

### (1) 株式会社長府製作所が製造した石油ふろがまについて（管理番号A201200125）

#### ① 事故事象について

株式会社長府製作所が製造した石油ふろがまを使用中、停電したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していました。

当該事故の原因は、機器の修理、点検及び空焚き防止装置の作動状況を判定するため、一時的に使用する点検用コネクタ（空焚き防止装置を働かせないようにするもの）を修理・点検後に戻し忘れたため、空焚きとなった際に空焚き防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられます。

#### ② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、13件の点検用コネクタの戻し忘れ・空焚きによる事故が発生したことから、事故の防止を図るため、点検用コネクタが付属されている全ての機種について、平成19年7月27日にプレスリリースを行い、点検用コネクタの戻し忘れがないかについて無償点検することとしました。また、他の対象機種と電気回路や熱交換器の構造等が一部異なる2機種（CK-11及びCK-11S（当該製品））については、空焚き防止回路が不安定となることによって空焚き防止装置の作動頻度が多くなり、修理・点検の回数も増え、点検用コネクタの戻し忘れの可能性が高くなることから、安定的な作動を確保するため基板を交換する改修を実施することとしました。平成19年7月28日には新聞社告を掲載するとともに、販売店・サービス店を通じ、チラシ、ポスター、TVCMやホームページ等による無償点検・改修の呼び掛けを行っています。

#### ③ 対象製品等：品目、機種名、製造期間、改修対象台数

品目	機種名	製造期間	改修対象台数
石油ふろがま	JK、JK2、JK-N ※ (バーナ型式：BM-71K、BM-71KT) (セッ型式：JPK、JPS-T、JPK-N)	昭和59年7月～ 平成3年9月	243, 420
	JPS-T3、JPK-N3	平成3年8月～ 平成13年9月	257, 603
	CK-8、CK-8E	昭和60年1月～ 平成4年5月	23, 815
	CK-9、CK-9E	昭和60年11月～ 昭和62年7年	3, 840
	CK-10、CK-10S	昭和61年12月～ 平成13年9月	54, 181
	CK-11、CK-11S	昭和62年4月～ 平成11年10月	111, 085
	小計		693, 944
追焚付石油給湯器	JIB-T	昭和59年11月～ 昭和63年1月	3, 150
	JIB-2T	昭和59年10月～ 昭和63年7月	9, 093
	JIB-4	昭和58年4月～ 昭和59年8月	4, 323
	JIB-5、JIB-5E、JIB-5S、JIB-5SE	昭和58年11月～ 昭和61年7月	12, 990

	JIB-6N、JIB-6NE、JIB-6NEG、 JIB-6NS、JIB-6NSG、JIB-6EA、 JIB-6EAG、JIB-6SA、JIB-6SAG	昭和61年3月～ 昭和63年4月	30, 333
	JIB-7EG、JIB-7S、JIB-7SAG、 JIB-7SG	昭和62年12月～ 平成3年12月	39, 134
	小計		99, 023
合	計		792, 967

※ 印の型式については、機器本体に表示がされており、別途、バーナー部には、バーナー型式名、取扱説明書には、セット型式が表示されています。

改修率 30.7% (平成24年4月30日現在)

### 対象製品の確認方法



#### ④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・改修を受けていない方は、浴槽に水があることを確認して使用していただくとともに、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(株式会社長府製作所の問合せ先)

電話番号：0120-911-870

受付時間：9時～18時(土・日・祝日を除く。)

ホームページ：<http://www.chofu.co.jp/important/20070727.html>

## (2) ダイキン工業株式会社が輸入した空気清浄機について (管理番号A201200130)

### ①事件事象について

ダイキン工業株式会社が輸入した空気清浄機を使用中、異臭と発煙に気付き確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

### ②当該製品のリコールについて

同社は、当該製品を含む対象機種(下記③)について、当該製品の除湿エレメントに付着した空気中の異物が除湿用のヒーターで過熱されて発熱し、その熱の影響で加湿エレメントに着火する可能性があることから、事故の再発防止を図るため、平成

24年2月3日にプレスリリースを行い、同日にホームページで注意を呼び掛けるとともに、対象製品を回収し、新製品との交換を実施しています。

③対象製品等：対象製品、対象機種、輸入期間、改修対象台数

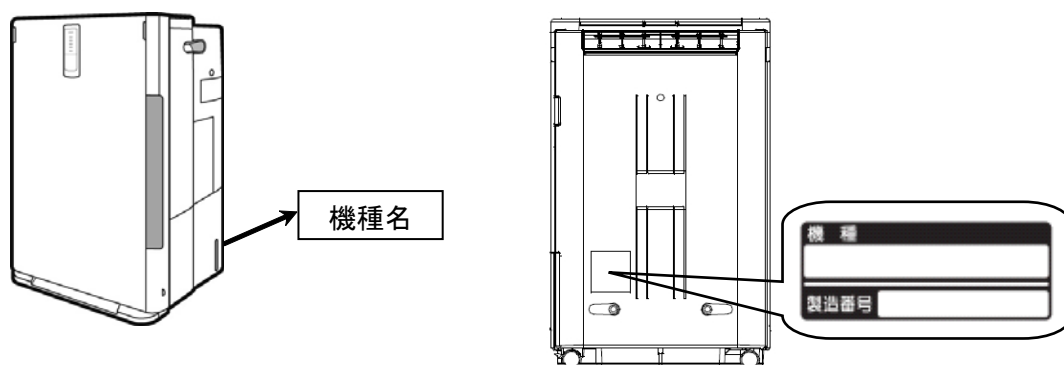
対象製品	対象機種	輸入期間	改修対象台数
除・加湿空気清浄機（商品名：クリアフォーエス）	ACZ65J-W、MCZ659-W、MCZ65JE5-W、MCZ65JJ6-W、MCZ65JKS-W、MCZ65J-W、ACZ65K-W、MCZ65KE6-W、MCZ65KKS-W、MCZ65K-W、ACZ65L-W、MCZ65L-W、MCZ65LE7-W、MCZ65LKS-W (14機種)	2007年8月 ～ 2011年8月	174,061
合 計			174,061

改修率 57.2%（平成24年4月30日現在）

対象製品の確認方法：下記の図を参考に対象の機種名を確認してください。

※機種名は製品背面に表示があります。

機種によって、外観形状が異なりますので、機種名を確認してください。



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う製品回収・無償交換を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

（ダイキン工業株式会社の問合せ先）

電話番号：0120-330-696

受付時間：24時間受付（平日・土・日・祝日ともに）

ホームページ：<http://www.daikin.co.jp/taisetsu/2012/120203/index.html>

インターネットによる受付も行っています。

(3) 株式会社オーム電機が輸入した空気清浄機について（管理番号A201200131）

① 事故事象について

株式会社オーム電機が輸入した空気清浄機を使用中、外出したところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、電流ヒューズの定格容量が設計上容量が大きすぎたことから、当該製品の電源回路の電子部品が内部短絡した際に、電流ヒューズが作動せず、過電流が流れ続けたため異常発熱し、焼損したものと考えられます。

② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2月1日にホームページへ情報掲載するとともに、ダイレクトメールの送付及び店頭告知を通じて注意喚起を行い、対象製品について無償改修を実施しています。

③ 対象製品等：型式（品番）、対象ロット記号番号、販売期間、改修対象台数

型式（品番）	対象ロット記号番号	販売期間	改修対象台数
AP-510H(黒) (00-6622)	D71012、D71211、D80116、 D80215、D80227、D80401、 D80507	平成19年11月 ～ 平成22年 3月	26,400台
AP-510A(青) (00-6623)	D71012	平成19年11月 ～ 平成21年 7月	3,749台
合 計			30,149台

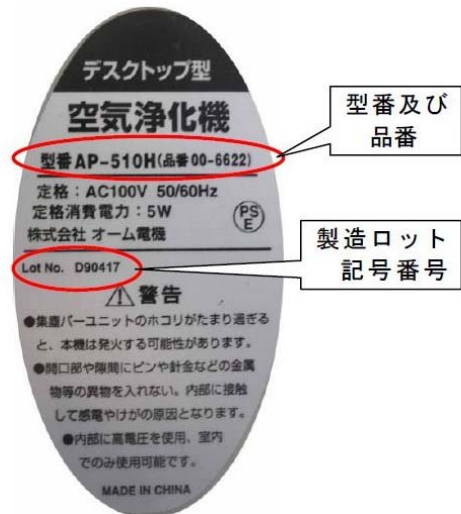
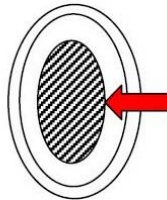
改修率 0.5%（平成24年4月30日現在）

対象製品の外観及び確認方法



本体底部の銘板内の型番（及び品番）及び製造ロット記号番号をご確認ください。

銘板貼付位置  
(本体底面)



#### ④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償改修を受けていない方は、直ちに使用を中止していただくとともに、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(株式会社オーム電機の間合せ先)

空気浄化機リコール係

電話番号：0120-963-006

048-992-2735(携帯電話・PHS・一部のIP電話)

受付時間：9時～17時30分(土曜は17時まで。日曜・祝日を除く。)

ホームページ：<http://www.ohm-electric.co.jp/showcase/AP-510/AP-510.html>

#### (4)株式会社KOUZIROが製造したデスクトップパソコンについて

(管理番号A201200132)

##### ①事象について

株式会社KOUZIROが製造したデスクトップパソコンを使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、当該製品に搭載したビデオカード(電子基盤)の部品に不良品が混在していたことから、その部品と周囲の回路部分に過電流が流れ、発熱し、発煙、出火に至ったものと考えられます。

##### ②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種(下記③)について、事故の再発防止を図るため、平成22年1月7日にプレスリリース及びダイレクトメールによる通知を行い、使用者に対し注意喚起を行うとともに、対象製品について、無償点検・部品交換を実施しています。

##### ③対象製品等

(対象機種)

ASUSTek社製ビデオカード EN8600GT/HTDP/256M PCI-E bulk(※注)を搭載したFRONTIERブランドのデスクトップパソコン

FRCA、FRCX、FRGB、FRRCシリーズ

※注：対象のビデオカードは、基盤製造番号「7」、「81」、「83」及び「84」で始まるもの。

(販売期間及び改修対象台数)

2007年8月31日～2008年7月31日 4,687台

改修率 31.6%(平成24年5月10日現在)

#### ④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者の行う無償点検・部品交換を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(株式会社KOUZIROの間合せ先)

担当窓口：株式会社KOUZIRO フロンティアカスタマーセンター

電話番号：0800-100-5046

受付時間：9時～21時(年末年始を除く。)

ホームページ：[http://www.frontier-k.co.jp/direct/support/s\\_info\\_100107.aspx](http://www.frontier-k.co.jp/direct/support/s_info_100107.aspx)

インターネットによる受付も行っています。

(5) アイシン精機株式会社が製造し、株式会社 I N A X（現 株式会社 L I X I L）が販売した温水洗浄便座について（管理番号A201200133）

①事象について

アイシン精機株式会社が製造し、株式会社 I N A X（現 株式会社 L I X I L）が販売した温水洗浄便座を焼損し、周辺を汚損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、製造から長期間経過したことにより、便座電気コードが断線、発熱し、出火に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、同社が直接販売した製品については、平成20年11月26日にプレスリリースを行い、同年12月3日に新聞広告を掲載し、使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施しています。また、販売事業者である株式会社 I N A X（現 株式会社 L I X I L）においては、平成20年11月26日にプレス公表を行い、同年11月27日に新聞広告を掲載し、長期間使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施しています。なお、不具合確認作業にて不具合が確認された場合は、事故防止のため温水洗浄便座としての使用を止めるようお願いしています。

③対象製品等：ブランド名、製品名、型番、製造年、点検対象台数

◆株式会社 I N A X（現 株式会社 L I X I L）が販売した製品

ブランド名	製品名	型番	製造年	点検対象台数
株式会社 I N A X (現 株式会 社 L I X I L) (ブランド名 I N A X)	シャワートイレ CW100シリーズ	CW130, CW131, CW110, CW111, CW100, CW101, CW130P, CW131P, CW110P, CW111P, CW100P, CW101P	1988年(昭和63 年)から1998年 (平成10年)	144,765
	シャワートイレ CW500シリーズ	CW530, CW531, CW530T, CW531T, CW530R, CW531R, CW530K, CW531K, CW530F, CW531F	1988年(昭和63 年)から1991年 (平成3年)	159,211
	シャワートイレ H I	H I, H I N H I F, H I K, H I R, H I S	1986年(昭和61 年)から1988年 (昭和63年)	78,402
	シャワートイレ (サニタリーナ) C II	C II, C I I F, C I I X, C I I F X	1982年(昭和57 年)から1988年 (昭和63年)	65,917
	シャワートイレ (サニタリーナ) F III	F III, F III 障害者, F III F, F III K	1983年(昭和58 年)から1988年 (昭和63年)	80,250
	シャワートイレ E II	E II, E II F, E II C, E II C F	1986年(昭和61 年)から1988年	38,855

			(昭和63年)	
	シャワートイレ D I	D I, D I F, D I K	1984年(昭和59年)から1989年(平成元年)	17,051
日本総合住生活株式会社	J S シャワートイレ (CW100ベース)	JSCW-130	1994年(平成6年)から1997年(平成9年)	2,218
ブラザー工業株式会社	シャワーベンザ WS-101 (シャワートイレⅡベース)	WS-101	1986年(昭和61年)	700
松下電工株式会社 (現 パナソニック電工株式会社)	クリーンシャワ レH (シャワートイレⅢベース)	CH5452	1986年(昭和61年)から1988年(昭和63年)	185
	クリーンベンザ H A (シャワートイレHⅠベース)	CH5462	1986年(昭和61年)	509
合 計				588,063

◆アイシン精機株式会社が販売した製品

ブランド名	製品名	型番	製造年	点検対象台数
アイシン精機株式会社	温水洗浄便座	18, 18F, 28, 28F	1988年(昭和63年)から1993年(平成5年)	1,011
積水化学工業株式会社	シャワー便座	ASB01	1987年(昭和62年)から1988年(昭和63年)	1,309
	シャワー便座	ASE01	1989年(平成元年)から1993年(平成5年)	780
株式会社長府製作所	温水洗浄器	S-1, S-2	1983年(昭和58年)から1986年(昭和61年)	6,672
	温水洗浄器	S-32, S-42	1995年(平成7年)から1997年(平成9年)	1,699
	温水洗浄便座	S-11, S-21, S-31, S-41	1988年(昭和63年)から1994年(平成6年)	3,823
株式会社マキタ電機製作所 (現 株式会社マキタ)	温水洗浄トイレ	ST-100, ST-200	1986年(昭和61年)から1988年(昭和63年)	3,348
	温水洗浄トイレ	ST-110, S-210,	1988年(昭和63年)	



		ST-300, ST-400	年から1992年 (平成4年)	2,126
合 計				20,768

点検対象台数 608,831台

点検率 1.5% (平成24年4月30日現在)

### 対象製品の確認方法

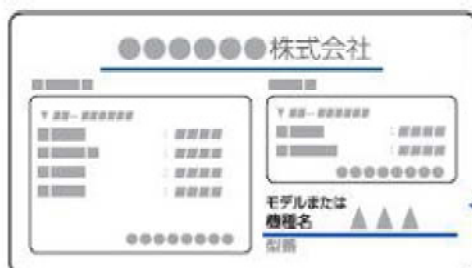
◆株式会社INAX (現 株式会社LIXIL) が販売した製品



機種タイプは  
ここに貼られているシールに  
記載されています

◆アイシン精機株式会社が販売した製品

(販売会社名と製品名を示したラベル例と、その貼付位置)



モデルまたは機種名  
の記載位置



#### ④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちの方で、まだ製造事業者等の行う点検を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

また、便座電気コードが切れていないか、便座が温まらないなどの不具合がないかを確認してください。もし、これらの不具合が確認された場合には、発煙・出火に至る場合があるため、電源プラグをコンセントからすぐに抜いてください。

なお、便座が割れている、ゴム足が外れている、ヒンジピンが外れているなどの状態で、便座を使用すると便座電気コードに負荷がかかり、事故に至る可能性が高くなります。

(アイシン精機株式会社の問い合わせ先)

電話番号：0120-33-0056

受付時間：9時～17時（平日）

10時～18時（土・日・祝日）

（年末年始・ゴールデンウィーク・夏季休暇を除く。）

ホームページ：<http://www.aisin.co.jp/news/d00142.html>

(株式会社INAX（現 株式会社LIXIL）の問合せ先)

電話番号：0120-1794-27

受付時間：9時～17時（土・日・祝日・年末年始・夏季休暇を除く。）

ホームページ：<http://www.inax.co.jp/warnings/081126/>

(本発表資料の問合せ先)

消費者庁消費者安全課

(製品事故情報担当)

担 当 : 中嶋、長井、川<sup>かわ</sup>船<sup>ふね</sup>

電 話 : 03-3507-9204 (直通)

F A X : 03-3507-9290

(株式会社長府製作所が製造した石油ふろがまについての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

担当 : 宮下、谷、山田

電 話 : 03-3501-1707 (直通)

F A X : 03-3501-2805

(ダイキン工業株式会社が輸入した空気清浄機についての発表資料に関する問合せ先)

(株式会社オーム電機が輸入した空気清浄機についての発表資料に関する問合せ先)

(株式会社KOUZIROが製造したデスクトップパソコンについての発表資料に関する問合せ先)

(アイシン精機株式会社が製造し、株式会社INAX(現 株式会社LIXIL)が販売した温水洗浄便座についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

担当 : 宮下、古田、長沼

電 話 : 03-3501-1707 (直通)

F A X : 03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200125	平成24年5月2日	平成24年5月14日	石油ふろがま	CK-11S	株式会社長府製作所	火災	当該製品を使用中、停電したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 事故の原因は、機器の修理、点検及び空焚き防止装置の作動状況を判定するため、一時的に使用する点検用コネクタ(空焚き防止装置を働かせないようにするもの)を修理・点検後に戻し忘れたため、空焚きとなった際に空焚き防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。	福島県	製造から15年以上経過した製品 平成19年7月27日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 30.7%
A201200128	平成24年5月9日	平成24年5月15日	ガスこんろ(都市ガス用)	IC-330HF-2	パロマ工業株式会社 (現 株式会社パロマ)	火災	飲食店で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	山口県	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200130	平成24年5月6日	平成24年5月15日	空気清浄機	MCZ65J-W	ダイキン工業株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、異臭と発煙に気付き確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	埼玉県	2月4日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 57.2%
A201200131	平成24年5月12日	平成24年5月15日	空気清浄機	AP-510H	株式会社オーム電機 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、外出したところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 事故の原因は、電流ヒューズの定格容量が設計上容量が大きすぎたことから、当該製品の電源回路の電子部品が内部短絡した際に、電流ヒューズが作動せず、過電流が流れ続けたため異常発熱し、焼損したものと考えられる。	福岡県	2月1日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 0.5%
A201200132	平成24年5月6日	平成24年5月16日	デスクトップパソコン	R/KZGB8104	株式会社KOUZIRO	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。 事故の原因は、当該製品に搭載したビデオカード(電子基盤)の部品が不良品であったため、その部品と周囲の回路部分に過電流が流れ、発熱し、発煙、出火に至ったものと考えられる。	神奈川県	平成22年1月7日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 31.6% 5月17日に消費者安全法の重大事故等として公表済

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200133	平成24年4月30日	平成24年5月16日	温水洗浄便座	CW-531(株式会社INAXブランド)	アイシン精機株式会社(株式会社INAXブランド)	火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。 事故の原因は、製造から長期間経過したことにより、便座電気コードが断線、発熱し、出火に至ったものと考えられる。	和歌山県	平成20年11月27日からリコールを実施(特記事項を参照) 点検率 1.5% 5月10日に消費者安全法の重大事故等として公表済

### 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200126	平成24年4月23日	平成24年5月14日	草焼きパーナー(可搬型)	重傷1名	当該製品を使用中、当該製品から漏れた灯油に引火し、火傷を負った。当該製品が改造されていた状況を含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	
A201200127	平成24年4月29日	平成24年5月14日	電気冷蔵庫	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	大阪府	5月10日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200129	平成24年4月8日	平成24年5月15日	バッテリーパック(ノートパソコン用)	火災	当該製品をバッグに入れて歩行中、当該製品から発煙し、当該製品及びバッグを焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	東京都	事業者が事故を認識したのは、4月16日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し 嚴重注意 5月10日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200134	平成24年4月23日	平成24年5月16日	照明器具(灯籠)	火災	当該製品を使用中、火災報知機が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	岡山県	5月17日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200135	平成24年4月29日	平成24年5月16日	電気ストーブ(ハロゲンヒーター)	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	愛媛県	
A201200136	平成24年4月30日	平成24年5月16日	電気ストーブ	火災 死亡1名	建物を全焼する火災が発生し、1名が死亡した。現場に当該製品があった。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	埼玉県	

### 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故公表等調査会及び第三者委員会合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

空気清浄機（管理番号 A201200130）



空気清浄機（管理番号 A201200131）



デスクトップパソコン（管理番号 A201200132）



温水洗浄便座（管理番号 A201200133）

